

図1-1 平成25年度 第1回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

表1-2 平成25年度 第2回 NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

全体	内容評価	講師評価	テキストの 見やすさ	(平均)
本研修	4.61	4.37	4.22	4.40
NBC総論	4.67	4.37	4.24	4.43
化学兵器総論	4.73	4.60	4.36	4.56
化学テロ・災害	4.58	4.21	4.04	4.28
生物災害	4.58	4.23	3.94	4.25
放射線災害	4.67	4.34	4.19	4.40
サーバイメーター	4.67	4.20	4.22	4.36
爆傷・災害対応	4.71	4.51	4.22	4.48
医師向け講義(化学)	4.66	4.41	4.22	4.43
医師向け講義(生物)	4.75	4.39	4.22	4.45
医師向け講義(放射線)	4.79	4.49	4.33	4.54
事務向け講義	4.68	4.73	4.41	4.61
診療手順	4.78	4.61	4.37	4.59
院内対応	4.61	4.05	4.05	4.24
診療実習	4.89	4.71	4.46	4.69
事務(エマルゴ)	4.67	4.57	4.43	4.56
スローオンセット	4.26	4.02	3.85	4.04
NBCエマルゴ	4.56	4.33	4.18	4.36
パネル	4.48	4.29	4.14	4.30
総合演習(説明)	4.63	4.42	4.29	4.45
総合演習(実技訓練)	4.86	4.52	4.36	4.58
	4.66	4.40	4.23	4.43

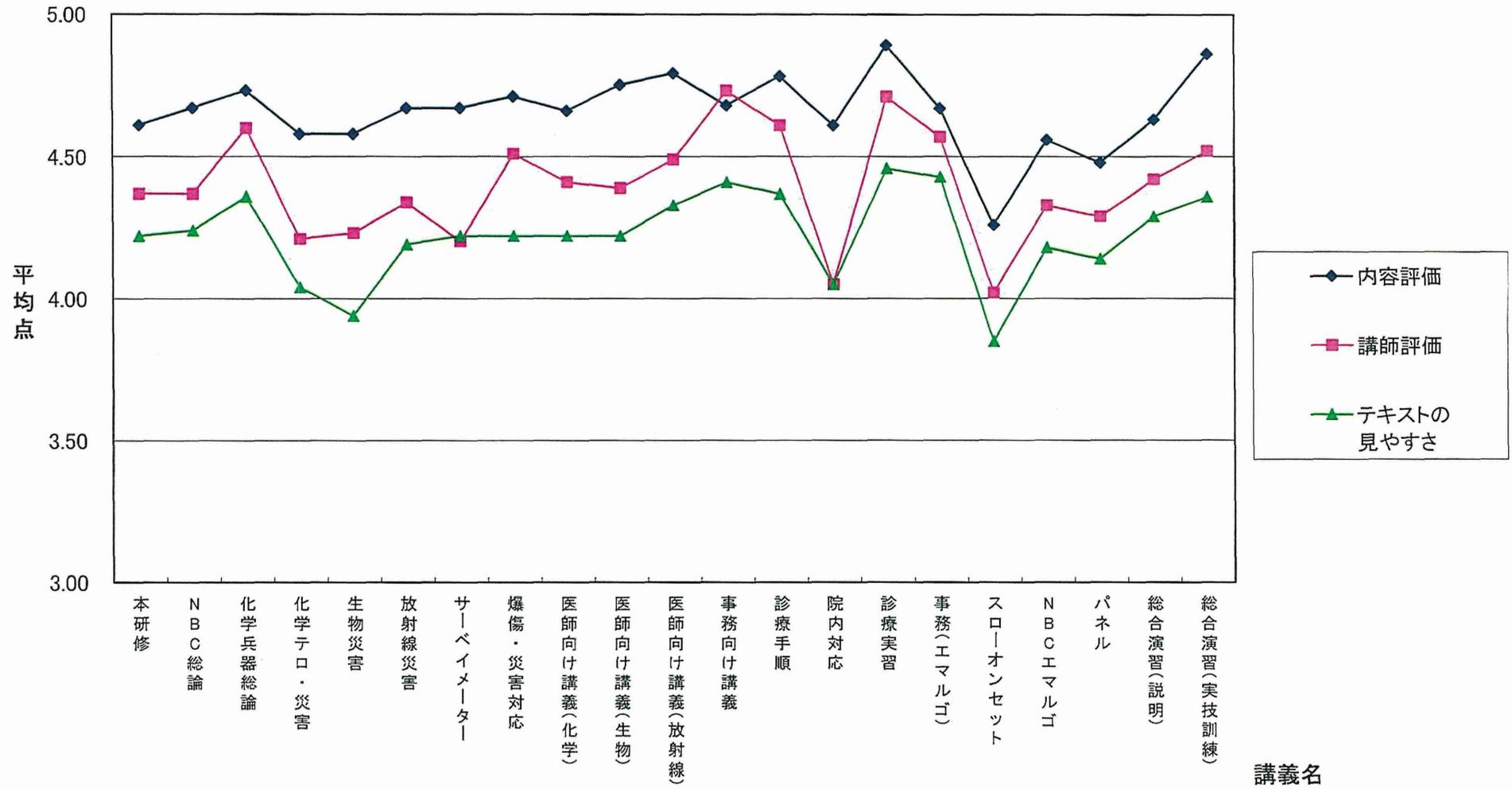


図1-2 平成25年度 第2回 NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

表1-3 平成26年度 第1回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

全体	内容評価	講師評価	テキストの 見やすさ	(平均)
本研修	4.67	4.65	4.52	4.61
NBC総論	4.70	4.67	4.52	4.63
化学兵器総論	4.78	4.72	4.59	4.70
化学テロ・災害	4.64	4.63	4.43	4.57
生物災害	4.52	4.29	4.31	4.37
放射線災害	4.65	4.42	4.48	4.52
サーバイメーター	4.70	4.49	4.46	4.55
爆傷・災害対応	4.72	4.67	4.52	4.64
診療手順	4.86	4.73	4.59	4.73
医師向け講義(化学)	4.72	4.58	4.56	4.62
医師向け講義(生物)	4.62	4.44	4.52	4.53
医師向け講義(放射線)	4.64	4.49	4.53	4.55
事務向け講義	4.47	4.58	4.32	4.46
院内対応	4.76	4.78	4.52	4.69
診療実習	4.86	4.80	4.75	4.80
事務(エマルゴ)	4.74	4.61	4.47	4.61
スローオンセット	4.23	4.01	4.01	4.08
NBCエマルゴ	4.66	4.55	4.34	4.52
パネル	4.60	4.67	4.62	4.63
総合演習(説明)	4.85	4.84	4.79	4.83
総合演習(実技訓練)	4.90	4.87	4.80	4.86
	4.68	4.59	4.51	4.59

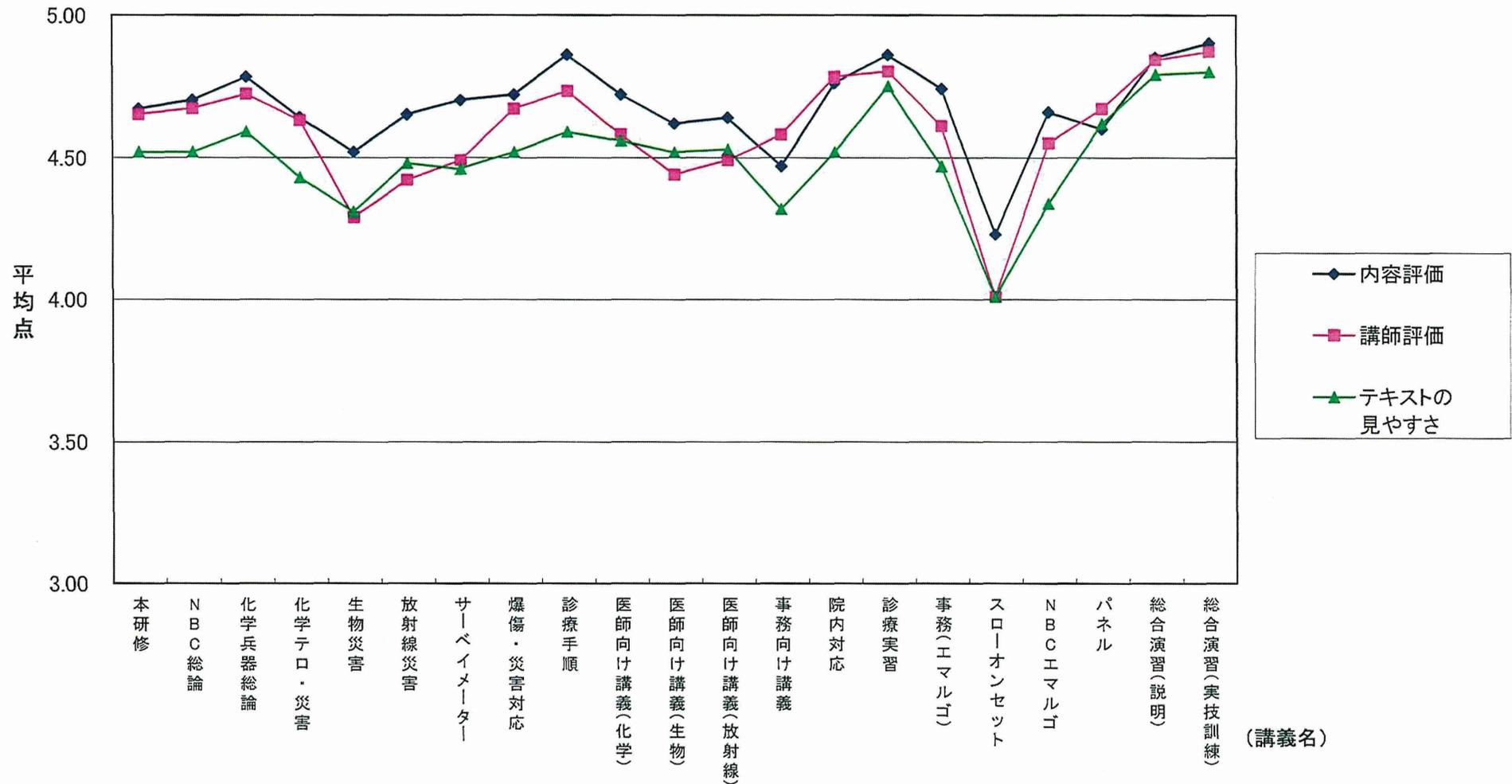


図1-3 平成26年度 第1回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

表1-4 平成26年度 第2回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

全体	内容評価	講師評価	テキストの 見やすさ	(平均)
本研修	4.67	4.57	4.36	4.53
NBC総論	4.85	4.45	4.40	4.57
化学兵器総論	4.85	4.60	4.39	4.61
化学テロ・災害	4.78	4.45	4.24	4.49
生物災害	4.67	4.21	4.25	4.38
放射線災害	4.73	4.50	4.35	4.53
サーベイメーター	4.84	4.09	4.15	4.36
爆傷・災害対応	4.82	4.60	4.35	4.59
診療手順	4.82	4.69	4.43	4.65
医師向け講義(化学)	4.54	3.98	4.45	4.32
医師向け講義(生物)	4.65	4.31	4.50	4.49
医師向け講義(放射線)	4.72	4.51	4.58	4.60
事務向け講義	4.58	4.47	4.28	4.44
院内対応	4.51	3.92	4.00	4.14
診療実習	4.96	4.79	4.70	4.82
事務(エマルゴ)	4.89	4.63	4.37	4.63
スローオンセット	4.07	3.61	3.69	3.79
NBCエマルゴ	4.58	4.03	4.07	4.23
パネル	4.44	4.33	4.33	4.37
総合演習(説明)	4.79	4.61	4.62	4.67
総合演習(実技訓練)	4.95	4.76	4.67	4.79
	4.70	4.39	4.34	4.48

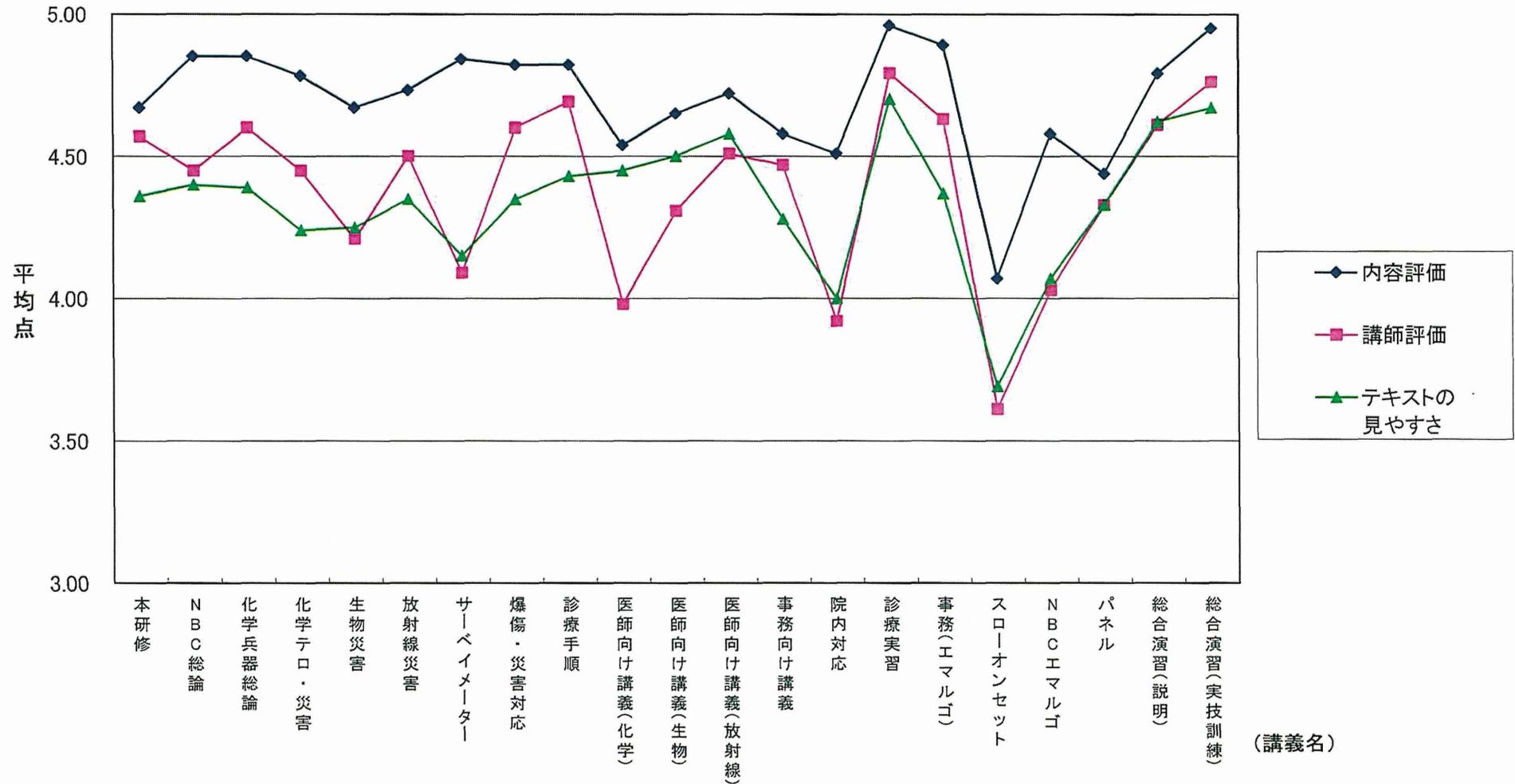


図1-4 平成26年度 第2回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

表1-5 平成27年度 第1回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

	内容評価	講師評価	テキストの 見やすさ	(平均)
本研修	4.55	4.50	4.33	4.46
NBC総論	4.64	4.53	4.39	4.52
化学兵器総論	4.70	4.57	4.39	4.55
化学テロ・災害	4.63	4.57	4.38	4.53
生物災害	4.51	4.21	4.19	4.30
放射線災害	4.53	4.22	4.19	4.31
サーバイメーター	4.48	4.00	4.19	4.22
爆傷・災害対応	4.64	4.53	4.40	4.52
診療手順	4.72	4.49	4.38	4.53
医師向け講義(化学)	4.39	4.44	4.32	4.38
医師向け講義(生物)	4.35	4.34	4.32	4.34
医師向け講義(放射線)	4.43	4.34	4.33	4.37
事務向け講義	4.68	4.41	4.19	4.43
院内対応 (化学災害机上訓練)	4.65	4.54	4.35	4.51
医師・看護師診療実習	4.86	4.70	4.60	4.72
事務向け(エマルゴ)	4.68	4.50	4.29	4.49
スローオンセット (生物災害机上訓練)	3.77	3.56	3.39	3.57
全体エマルゴ訓練	4.53	4.28	4.13	4.31
関連機関連携(パネル)	4.28	4.27	4.23	4.26
総合演習(説明)	4.67	4.58	4.47	4.57
総合演習(実技訓練)	4.88	4.80	4.65	4.78
	4.55	4.39	4.28	4.41

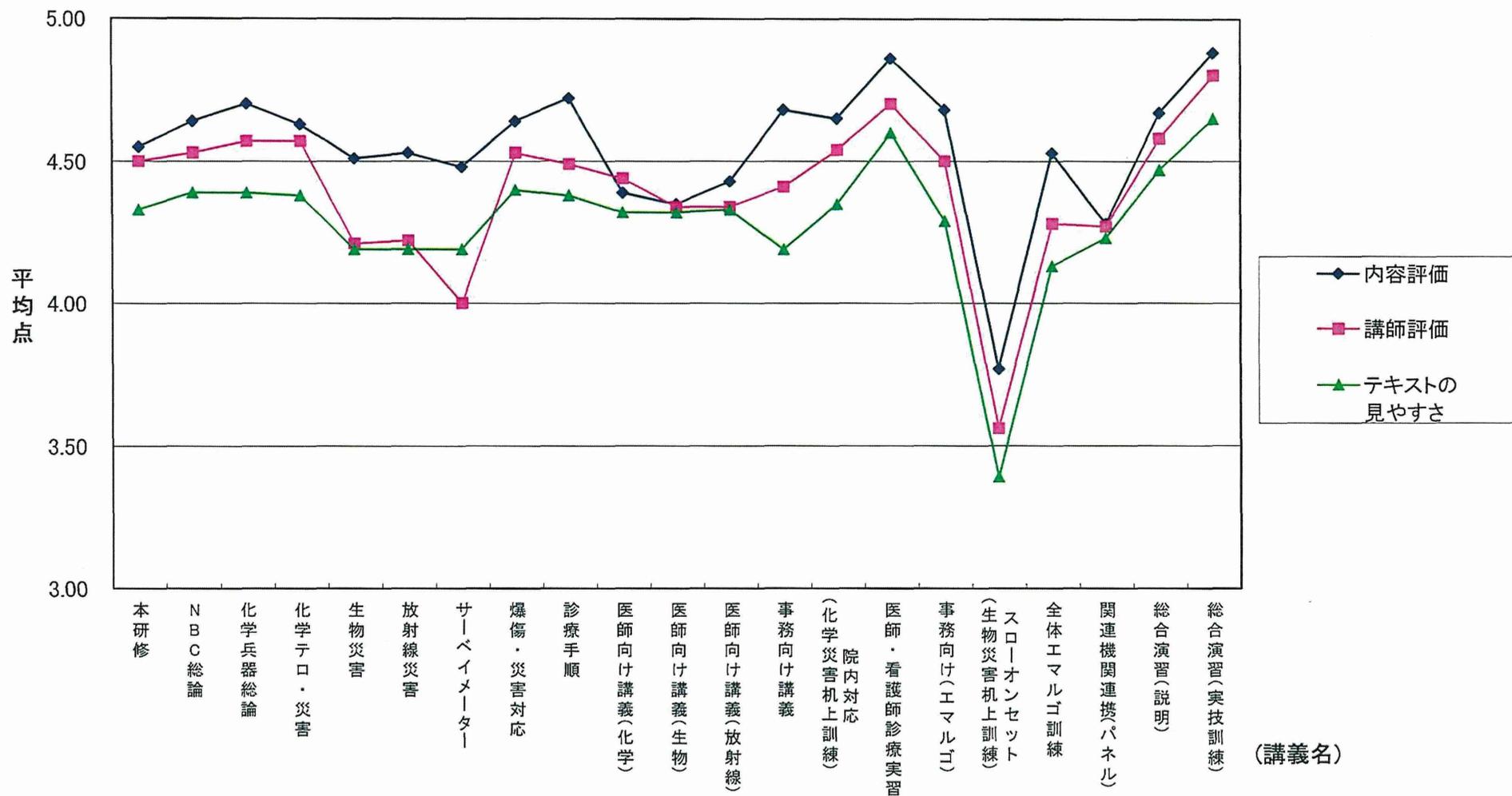


図1-5 平成27年度 第1回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

表1-6 平成27年度 第2回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

全体	内容評価	講師評価	テキストの 見やすさ	(平均)
本研修	4.71	4.63	4.56	4.63
NBC総論	4.73	4.54	4.53	4.60
化学兵器総論	4.80	4.65	4.63	4.69
化学テロ・災害	4.66	4.46	4.52	4.55
生物災害	4.59	4.29	4.36	4.41
放射線災害	4.68	4.49	4.42	4.53
サーバイメーター	4.76	4.55	4.50	4.60
爆傷・災害対応	4.78	4.68	4.64	4.70
診療手順	4.80	4.70	4.70	4.73
医師向け講義(化学)	4.72	4.62	4.62	4.65
医師向け講義(生物)	4.65	4.31	4.48	4.48
医師向け講義(放射線)	4.67	4.52	4.43	4.54
事務向け講義	4.82	4.73	4.71	4.75
院内対応 (化学災害机上訓練)	4.74	4.56	4.56	4.62
医師・看護師向け診療実習	4.77	4.71	4.56	4.68
事務向け(エマルゴ)	4.83	4.74	4.73	4.77
スローオンセット (生物災害机上訓練)	4.52	4.37	4.36	4.42
全体エマルゴ訓練	4.74	4.68	4.48	4.63
関連機関連携(パネル)	4.66	4.69	4.57	4.64
総合演習(説明)	4.73	4.70	4.63	4.69
総合演習(実技訓練)	4.91	4.81	4.66	4.79
	4.73	4.59	4.56	4.63

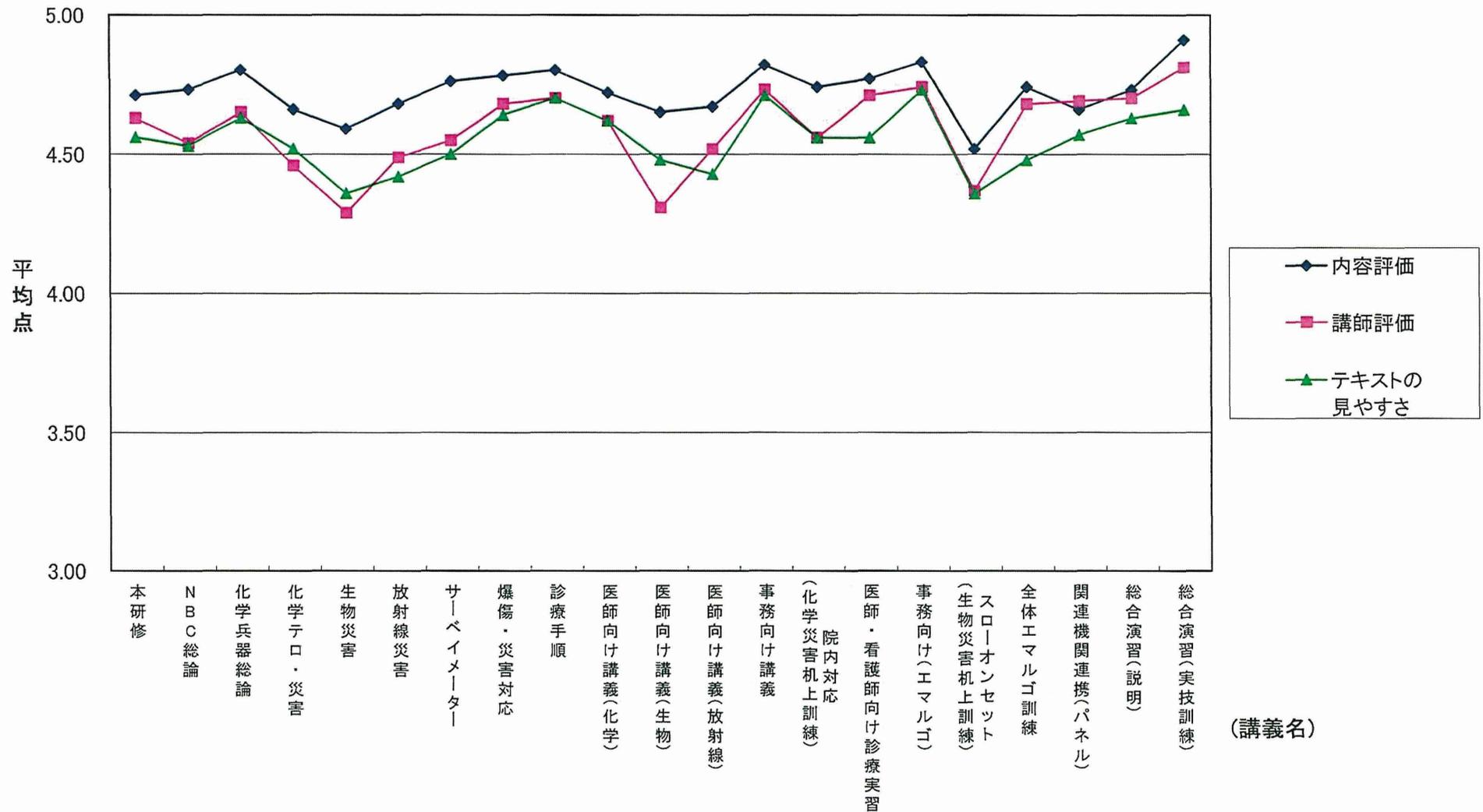


図1-6 平成27年度 第2回NBC災害・テロ対策研修 講義評価アンケート

表2 平成27年度 北海道国民保護訓練 クロノロジー(まとめ)

時刻	発信元	発信先	質問内容・得られた情報・発信内容	対応終了の有無(時間)
11:00	発災			
11:25	旭川消防本部・電話		東光スポーツ公園にて化学剤らしきものが散布され200人以上の人が倒れたり、呼吸障害を起こしている。縮瞳の症状から神経剤を疑っている。	○
11:32	旭川医大・電話		これから患者が搬送されてくる予定。縮瞳があるため、神経剤を疑っている。	○
11:35	旭川消防本部・FAX		特殊災害報告書①を受信	○
11:35		旭川医大・電話・FAX	早期鑑別チェックリスト～化学兵器類型別性質までをFAXにて情報提供	○(11:38)
11:35		つくば中毒110番	大規模災害発生の連絡	○(11:36)
12:03	旭川医大・電話		原因物質はサリンと確定	○
12:05	旭川消防本部・電話		自衛隊の検知で原因物質はサリンと確定	○
12:07	旭川消防本部・FAX		特殊災害報告書②を受信	○
12:08		旭川医大・FAX	サリンの資料をFAX	○(12:08)
12:58	旭川医大・電話 (JPICから電話した)		傷病者が病院に搬送され始めた。 現在、赤:6、黄:0、緑:5 症状は、縮瞳、流涎、呼吸困難	○
13:54	旭川医大・電話		現在、赤:10、黄:20、緑:5 症状は、同じで重いか軽いかの違いだけ。 * JPICより特殊災害報告書での報告を依頼した。	○
17:13	旭川医大・FAX		特殊災害報告書を受信(赤の患者10名分)	○

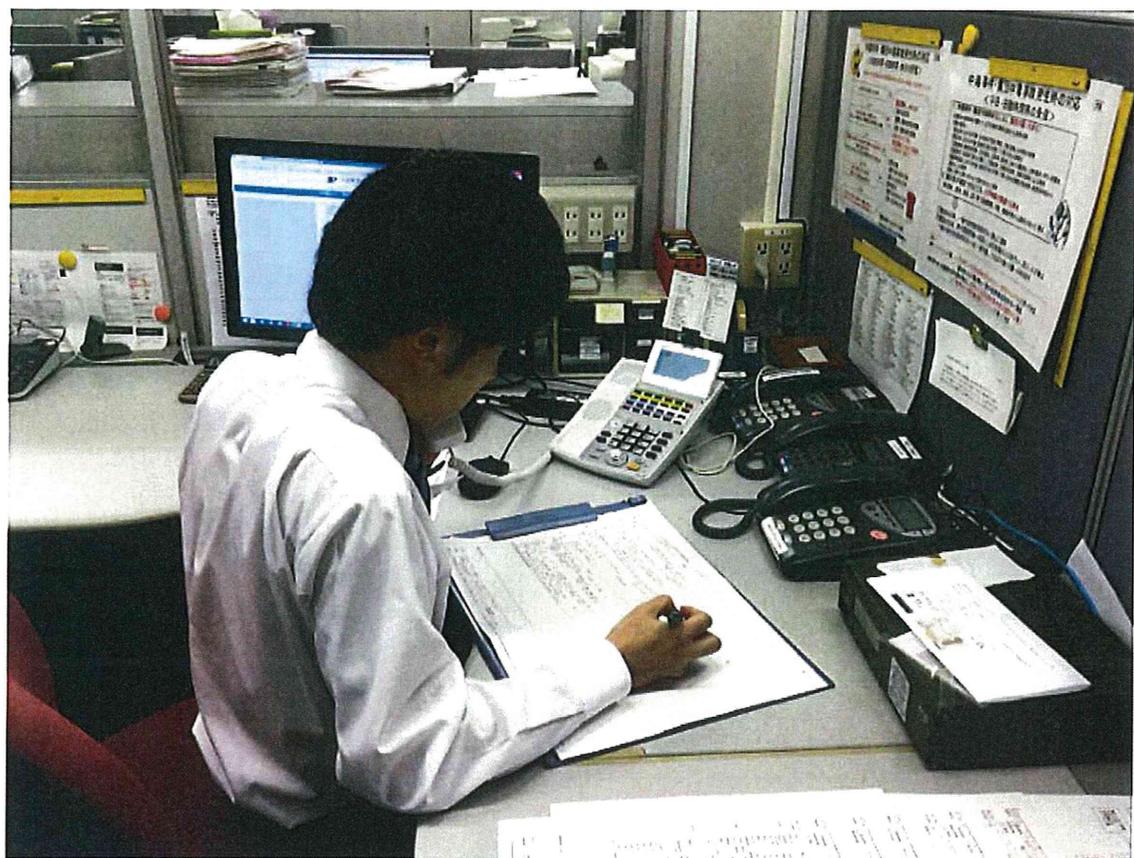


写真 平成 27 年度 北海道国民保護訓練 日本中毒情報センター対応風景

〔第 1 日目〕 12 月 24 日(木)

0830-0900	受付	
0900-0905	開会挨拶	日本中毒情報センター 代表理事 吉岡 敏治
0905-0920	「本研修について」	東京医科歯科大学 大友 康裕
0920-1000	「NBC 総論」ーテロ・災害時の連携、JPICの化学災害対策を中心にー	日本中毒情報センター 吉岡 敏治
1000-1040	「化学兵器総論(化学剤、ゾーニング、除染、PPE)」	環境省(元 陸上自衛隊) 中村 勝美
1040-1050	休憩	
1050-1130	「化学テロ・災害、事例検討」	日本中毒情報センター 水谷 太郎
1130-1210	「生物災害」	国立感染症研究所 松井 珠乃
1210-1300	昼食	
1300-1340	「放射線災害、事例検討」	放射線医学総合研究所 立崎 英夫
1340-1420	「サーベイメーターの使用法および実習」	放射線医学総合研究所 立崎 英夫 放射線医学総合研究所 齋藤 和典 放射線医学総合研究所 柏場 進吾 放射線医学総合研究所 田中 泉
1420-1430	休憩	
1430-1450	「爆傷・災害対応」	日本医科大学 布施 明
1450-1550	「NBC テロ診療手順 デモと解説」	東京医科歯科大学 大友 康裕 藤沢市民病院 阿南 英明 日本医科大学 布施 明 米盛病院 岩間 直 【協力者】川崎市立川崎病院 大城 健一
1550-1610	「医師向け専門講義(C:20分)」〈医師・看護師のみ〉 日本中毒情報センター 吉岡 敏治	15:50-16:50
1610-1630	「医師向け専門講義(B:20分)」〈医師・看護師のみ〉 国立感染症研究所 松井 珠乃	「事務向け講義」〈調整員のみ〉 (国民保護法、地域連携、連携モデル)
1630-1650	「医師向け専門講義(N:20分)」〈医師・看護師のみ〉 放射線医学総合研究所 立崎 英夫	救急振興財団・北九州市危機管理 郡山 一明
1650-1700	休憩	
1700-1900	「机上演習(化学災害院内対応)」	日本中毒情報センター 水谷 太郎

[第2日目] 12月25日(金)

資料1-2

0830-1200	<p>「模擬患者を用いた診療実習」<医師・看護師のみ></p> <p>東京医科歯科大学 大友 康裕 藤沢市民病院 阿南 英明 災害医療センター 小井土 雄一 武蔵野赤十字病院 勝見 敦 山形県立救命救急センター 森野 一真 日本医科大学 布施 明 静岡県立総合病院 登坂 直規 放射線医学総合研究所 立崎 英夫 米盛病院 岩間 直 前橋赤十字病院 高橋 栄治 災害医療センター 小笠原 智子</p> <p>【協力者】川崎市立川崎病院 大城 健一</p>	<p>「事務向け講義(院内対応)」<調整員のみ></p> <p>鳥取大学医学部 本間 正人 災害医療センター近藤 久禎 村山医療センター 楠 孝司 水戸医療センター佐藤 和彦 信州上田医療センター高野 博子</p>
1200-1300	昼食 (「トリアージと除染」・「防護具の正しい装着・脱衣方法」 ビデオ放映 各 10 分)	
1300-1500	「机上演習(スローオンセット)」	災害医療センター 近藤 久禎 国立感染症研究所 大日 康史
1500-1510	休憩	
1510-1650	筆記試験・実技試験	
1650-1700	休憩	
1700-1820	「総合演習(実技訓練)へ向けての NBC エマルゴ」 防護服着脱演習	鳥取大学医学部 本間 正人 神戸大学医学部附属病院 西山 隆 他
1820-1830	合格発表	

[第3日目] 12月26日(土)

0830-1030	<p>「パネルディスカッション (関係機関の災害医療体制と対応)」</p> <p>司会: 日本中毒情報センター 嶋津 岳士 パネリスト: 厚生労働省 葛西 毅彦 警察庁 石飛 昇 消防庁 新村 満弘 環境省(元 陸上自衛隊) 中村 勝美 日本中毒情報センター 黒木 由美子</p>
1030-1115	総合演習(説明) と設営 鳥取大学医学部 本間 正人
1115-1215	昼食 (着替え)
1215-1615	<p>「総合演習(実技訓練)」</p> <p>鳥取大学医学部 本間 正人、東京医科歯科大学 大友 康裕、 神戸大学医学部附属病院 西山 隆、武蔵野赤十字病院 勝見 敦、 静岡県立総合病院 登坂 直規、米盛病院 岩間 直、 前橋赤十字病院 高橋 栄治、災害医療センター 小笠原 智子、 村山医療センター 楠 孝司、水戸医療センター 佐藤 和彦、 【協力者】川崎市立川崎病院 大城 健一</p>
1615-1630	講評 東京医科歯科大学 大友 康裕

平成27年度第2回NBC災害・テロ対策研修 アンケート
(12/24~12/26)

資料2-1

●あなたの受講職種はなんですか。

医師 看護師

業務調整員 {実務：事務、薬剤師、放射線技師、医師、看護師、その他()}

●勤続年数

~1年 1~3年 3~5年 5~10年 10~20年 20年~

●講義評価

[第1日目]	(内容評価)					(講師評価)					(テキストの見やすさ)				
	本セミナーには不要					必要	悪い					良い			
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 「本研修について」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 「NBC総論」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 「化学兵器総論(化学剤、ゾーニング、除染、PPE)」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 「化学テロ・災害、事例検討」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 「生物災害」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 「放射線災害、事例検討」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 「サーベイメーターの使用方法および実習」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 「爆傷・災害対応」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 「NBCテロ診療手順 デモと解説」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 「医師向け専門講義(化学)〈医師・看護師のみ〉」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 「医師向け専門講義(生物)〈医師・看護師のみ〉」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 「医師向け専門講義(放射線)〈医師・看護師のみ〉」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 「事務向け講義〈調整員のみ〉」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 「机上演習〈化学災害院内対応〉」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
[第2日目]															
15 「模擬患者を用いた診療実習〈医師・看護師のみ〉」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 「事務向け講義(院内対応)〈調整員のみ〉」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 「机上演習(スローオンセット)」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 「総合演習(実技訓練)へ向けてのNBCエマルゴ」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
[第3日目]															
19 「パネルディスカッション(関係機関の災害医療体制と対応)」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 「総合演習(説明)」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 「総合演習(実技訓練)」	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

平成 27 年度第 2 回 NBC 災害・テロ対策研修 アンケート
(12/24～12/26)

資料 2-2

●この研修会内容は、病院の NBC テロ発生時の対応の向上に寄与しますか。

- 1 大いに寄与する 2 多少寄与する 3 あまり寄与しない

●NBC テロ対応マニュアルを、貴施設で作成していますか。

- 1 既に作成済み 2 作成中 3 今後作成したい 4 必要ない

★NBC テロ対応マニュアルを既にお持ちの施設の方にお聞きします。

- 1 マニュアルは、常に改訂可能にしている 2 必要があれば改訂している 3 改訂しない

●この研修会内容で、NBC テロ対策教育として不足していると思われること、その他改善すべき点がございましたら、ご記入ください。(個別科目に関するご意見については、科目名をご記入下さい。)

●この実習で良かったところをご記入下さい。(個別科目に関するご意見については、科目名をご記入下さい。)

アンケートにご協力頂きありがとうございました。

これは、発災状況、症状等から原因化学物質の推定を行い、想定される治療方法等を初動対応者に情報提供するための連絡用シートです。日本中毒情報センターに電話をしたのちにFaxして下さい。

特殊災害報告書(情報共有のための状況データ)
医療関係者・警察・消防→日本中毒情報センター用

資料3-1

[第__報] 報告日時: ____年__月__日__時__分(西暦及び24時間表記)

1. 報告者: (所属) _____ (氏名) _____
: (TEL) _____ (FAX) _____

2. 報告内容: _____

3. 現地到着日時: ____年__月__日__時__分(西暦及び24時間表記)

4. 発災日時: ____年__月__日__時__分(西暦及び24時間表記)

5. 発災場所: a) 屋内 b) 屋外 c) その他 _____

5-1. 施設名(ビル・工場・会社名など) _____

5-2. 施設の規模(何階建て?常時使用人数は?など) _____

5-3. 発災場所の詳細(何階?個室orロビー?など) _____

6. 投射手段(散布法等): a) 爆弾 b) 噴霧器 c) その他 _____

7. 被災者発生数(推測)

a) 10人以下 b) 10人~20人 c) 20人~50人 d) 50人以上 e) 約____人

8. 特殊災害種類(可能性含む): a) 化学剤 b) 爆発物 c) 核/放射性物質 d) 生物剤

9. 起因物質の情報(推測)

9-1. 推定物質: _____ b) 不明

9-2. a) 液体 b) 固体 c) 気体 d) その他: _____ e) 不明

9-3. 臭い・色など: _____

10. 被災者の発現症状

10-1. 眼の所見 充血・涙・痛み・見え方(暗い・かすむ)など _____

10-2. 皮膚の所見 汗で湿潤・発赤・水ぶくれ・痛み・びらんなど _____

10-3. 分泌物の所見 鼻水・唾液 など _____

10-4. 神経・筋症状 意識低下・頭痛・震え・けいれん など _____

10-5. 呼吸器症状 咳・息苦しさ・呼吸回数 など _____

10-6. 消化器症状 悪心・嘔吐・腹痛・下痢 など _____

10-7. その他の症状 _____

11. 検知: a) 検知物質: _____ (検知器: _____) b) 未検知

12. 除染: a) 不要 b) 乾的除染 c) 水除染 d) その他 _____

13. 个人防护装備(PPE): 不要 必要(レベル: _____)

14. 重症度: a) 重症(____人) b) 中等症(____人) c) 軽症(____人)

d) その他 _____

15. 被災者の主たる搬送先: _____

これは、症状等から原因化学物質の推定を行い、想定される治療方法等を医療関係者に情報提供するための連絡用シートです。日本中毒情報センターに電話をしたのちにFaxして下さい。

特殊災害対応症例報告書
医療関係者→日本中毒情報センター用

資料3-2

報告日時： 年 月 日 時 分(西暦及び24時間表記)

所属： 記載者名：

TEL： FAX：

対応日時： 年 月 日 時 分(西暦及び24時間表記)

対応場所：

対応場所の詳細 屋外 屋内(地下鉄駅構内、1階ロビー、5階会議室等)：

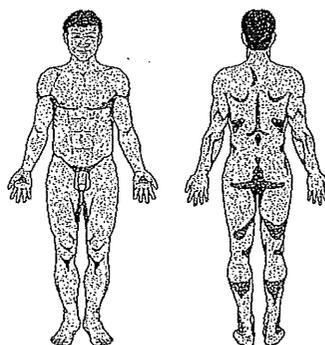
患者識別(イニシャルなど)： 年齢： 歳 性別： 男 / 女

連絡先： 生年月日： 年 月 日

体重： kg

主訴：

現病歴：



バイタルサイン

意識レベル：GCS=E()V()M()

JCS= I・II・III-()

呼吸： 回/分、SpO2 %

脈拍： 回/分 整・不整

血圧： / mmHg

発現症状

眼の所見： 発赤 / 流涙 / 眼痛 / 縮瞳 / 散瞳

皮膚の所見： 汗で湿潤 / チアノーゼ / 発赤 / 水疱 / 接触時疼痛 / びらん

分泌物の所見： 鼻汁過多 / 唾液分泌過多

神経・筋症状： 頭痛 / 筋攣縮 / 痙攣

呼吸器症状： 咳 / 呼吸困難

消化器症状： 悪心 / 嘔吐 / 腹痛 / 下痢

その他の症状：

重症度判定(収容前)： 重症 / 中等症 / 軽症

現場処置

除染： なし / あり (乾的除染・水洗)

挿管： なし / あり

解毒剤の投与： なし / あり (薬剤名： 、投与量：)

収容(収容予定)病院：

収容(収容予定)病院の状況：

主治医連絡先(主治医名： TEL：)

収容手段： 救急車 / ヘリ (自衛隊・消防防災・ドクター) / その他()

収容先での治療内容：

診断(症状名)：

重症度判定(収容後)： 死亡 / 重症 / 中等症 / 軽症

転帰および今後の方針：

その他：

これは、事例情報、症状等から原因化学物質の推定を行い、想定される治療方法等を保健所に情報提供するための連絡用シートです。日本中毒情報センターに電話をしたのちにFaxして下さい。

化学物質健康危機管理支援連携体制
化学災害等報告書

資料 3-3

保健所→日本中毒情報センター用

*報告日時 20 年 月 日 時 分 第 報(西暦及び24時間表記で記載)

I. 報告者情報

1. 所属 保健所等 課 係 報告者名
2. 連絡先：返信用電話番号(必須) 返信用FAX(必須)

注：以下の記載は、報告時点で把握している最新情報に基づいて、把握している範囲で報告する。

該当するチェック欄をチェック、または指示に従い記入する。第2報以降は、変化のあった情報のみでも可

II. 事例概要情報

1. 発生日時 20 年 月 日 : 頃□ 2. 探知日時 20 年 月 日 : 頃□
3. 被災者数(概数でも可) 拡大中□ 収束中□ 情報なし□
4. 探知方法(自由記載))
5. 発災場所・発生源 屋内□ 屋外□(化学物質発生源又は発生場所でわかっているものを以下に記載)
名称等不明□(施設名、ビル名等))
6. 事例概要(自由記載))

III. 起因物質に関する情報(報告時点でわかる範囲で記載)

1. 物性 不明□ 固体□ 液体□ 気体□ 色: 有□() 無色□ 臭い: 有□() 無臭□
2. 物質名、商品名、用途、製造製品など(不明□))
3. 検知機関等 検知なし□ 消防□ 警察□ その他□(機関名))
4. 検知器名 検知なし□()

IV. 被災者の症状(報告時点でわかる範囲で記載)

- | | | | | | |
|--------|----|--------|----------|----|--------|
| ○眼症状 | 一部 | 多く又は全員 | ○呼吸器症状 | 一部 | 多く又は全員 |
| 縮瞳 | □ | □ | 咳がある | □ | □ |
| 見え方が暗い | □ | □ | 呼吸困難がある | □ | □ |
| 眼がかすむ | □ | □ | (呼吸回数が多い | □ | 回/分) |
| 眼が痛い | □ | □ | ○消化器症状 | 一部 | 多く又は全員 |
| 涙がでる | □ | □ | 嘔気又は嘔吐 | □ | □ |
| 充血している | □ | □ | 下痢がある | □ | □ |
| ○分泌症状 | 一部 | 多く又は全員 | 腹痛がある | □ | □ |
| 鼻水がでる | □ | □ | ○神経系症状 | 一部 | 多く又は全員 |
| 唾液がでる | □ | □ | 意識レベル低下 | □ | □ |
| 発汗がある | □ | □ | 頭痛がある | □ | □ |
| ○皮膚症状 | 一部 | 多く又は全員 | 震えがある | □ | □ |
| 発赤 | □ | □ | けいれんがある | □ | □ |
| 水疱 | □ | □ | 脱力がある | □ | □ |
| 皮膚の痛み | □ | □ | 筋肉がつる | □ | □ |

○瞳孔径、血圧、体温、酸素飽和度、血液pH・コリンエステラーゼ活性値で異常所見を把握していれば記載)
不明□ (別紙添付可))

V. その他の情報(把握している場合に記載)

被災者の主な搬送先医療機関名()

本シートは平成21,22年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「健康危機発生時における行政機関相互の適切な連携体制及び活動内容に関する研究」によって作成されました。転載可、無断改変禁止